

八峰白神ジオの恵みプロダクトの紹介

八峰町ならではの食の魅力を紹介する「ジオの恵みプロダクト」を開始しました。
参加していただいた商品を紹介します。



【かおりのドライフルーツ、洋梨のジャム】



【ジオっとランチ】



笠原 昇子さん

100年以上続く笠原果樹園が営むレストランです。地元の食材を使ったメニューが豊富で、梨農家ならではの梨を使ったスイーツも用意しています。

果樹農家のレストラン
しらかみカフェ

住所 八峰町峰浜水沢字家ノ下谷地38-4
電話 0185-76-3715

今後も八峰白神ジオの恵みプロダクトを募集中です。詳細はお問い合わせください。

■問合せ先 八峰白神ジオパーク推進協議会事務局（八峰町産業振興課内）
☎ 0185-76-4605 FAX 0185-76-2203

新たに民生児童委員に委嘱された委員を紹介します

令和2年11月に厚生労働大臣と秋田県知事から、新たに民生児童委員にされた委員を紹介します。
民生児童委員は、地域の皆さんが住みなれた地域で安心して暮らせるよう社会福祉に関わる相談に応じるための活動をしています。秘密は守りますので、お気軽に相談ください。

担当区域	氏名	電話番号
畑谷・上畑谷・内坂	千葉 一	76-2237
石川下・稲子沢	米森 博孝	76-3125

任期は、令和2年11月10日～令和4年11月30日までの3年間です。

■問合せ先 福祉保健課 福祉係 ☎76-4608

新車・中古車販売（国産全メーカー）
車検・定期点検・钣金塗装

沢目自動車

TEL76-2065 FAX76-3280
沢目駅前



石油・電気暖房機
補聴器（消費税免除）

（石油機器技術管理士
第1994351498号）
（管理医療機器販売業届済店
第03-404361号）



SELA グループ

SELA シロキ

Panasonic エルポート シロキ

八峰町八森字中浜 TEL77-2323・FAX77-2324

八峰白神ジオパーク

連載 119回

事務局

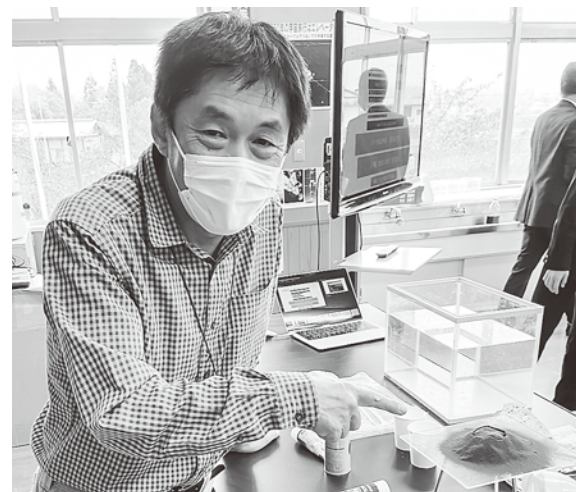
八峰町産業振興課 ジオパーク推進係
☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203
HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



白神山地の恵みに生きる

ジオパークには欠かせない大地で暮らす人々
地域の人の話を聞いて、大地と人のつながりを考えます

八峰町の出前授業は大好き！



ココアを使って噴火実験をする林さん

話をしてくれた人

林 信太郎 はやし しんたろう さん

1956年、北海道苫小牧生まれ。2002年より秋田大学教育文化学部教授。専門は火山地質学。八峰白神ジオパーク推進協議会のアドバイザーも務める。主な著書に「世界一おいしい火山の本ーチョコココアで噴火実験ー」。趣味は料理全般。

○八峰白神ジオパークの立ち上げ

八峰白神ジオパークの立ち上げに関わったのは、今から10年ほど前です。八峰町は火山の地下にあるマグマの通り道から、噴火して出てきたものまで、火山の博物館のようにコンパクトに見ることが出来ます。ジオパークの資源となるものを整理して、面白い魅力あるジオパークができそうだということ。それから、調査しているうちに八峰町の自然の素晴らしさに気づいていきました。白神山地もありますし、白神山地から流れる川がまた魅力的です。素晴らしい水質でかつ生物が豊かで。そういった自然の魅力に惹かれていって、次第に「白神山地の恵みに生きる」というコンセプトが生まれてきたと思います。

○八峰町での出前授業

八峰町の子どもたちに授業をするのはとっても楽しいですよ。非常に話を集中して聞いて、質問するときは活発に質問するんですね。そうすると私ものってきますので非常に楽しい授業になるんですね。広報に八峰町の出前授業は大好きと書いておいてほしいです。ジオパーク教育は今後も強力に続けて行って、発展させていってほしいと思います。ものすごく重要なふるさと教育です。子どもたちがふるさとに誇りを持つというのは、子どもたちにとっても地域にとっても両方にとって大事なことです。自分たちの出身はアイデンティティの1つですので、そこに誇りを持てるということは自分にも誇りを持てるということです。

○八峰町の魅力

八峰町は遊ぶ場所として非常にいい場所だということに気が付きまして、段々と私の遊び場になっていったんです。仕事場兼遊び場ですね。この間も実は妻と二人で遊びに行きました。八峰町の皆さんはとてもオープンなんですね。秋田の田舎ってそうとは限らないんですよ。そんな人々の魅力にも気づきはじめました。八峰町は鉱山があつて昔から首都圏と交流があります。そういう文化があるのは非常に感じます。八峰町の良さを語れる子どもがいれば、Uターンしてくることも考えられます。八峰町の魅力をもっと伝えていきたいですね。



八峰町での出前授業の様子